

平成30年3月（第1回）岩倉市議会定例会
一般質問通告要旨

1 塚本 秋雄 議員

- 1 北方領土問題について
 - (1) 北方領土返還運動の推進について
- 2 男女共同参画について
 - (1) 男女共同参画推進の取組みについて
- 3 学校教育について
 - (1) 新学習指導要領の取組みについて
 - (2) 小中学校のICT活用について
- 4 教育長の教育方針について

2 大野 慎治 議員

- 1 財政見直しについて
- 2 市役所本庁舎のLED照明導入について
 - (1) 現状について
 - (2) LED照明に交換するべきではないか。
- 3 岩倉市総合体育文化センターのトレーニング室について
 - (1) 現状について
 - (2) トレーニングマシンを増設するべきではないか。
- 4 犯罪発生状況について
 - (1) 現状について
 - (2) 防犯対策補助金の創設を求める。

3 関戸 郁文 議員

- 1 市内小中学校において、キミも今日からチャレンジャー（キミチャレ）の制度化について問う
 - (1) 岩倉市内小中学校におけるキミチャレのような制度はあるのか。
- 2 岩倉市の古文書管理について問う

- (1) 岩倉市で把握している古文書はどのくらいあるのか。
- (2) 古文書の現在の扱いはどうなっているのか。
- (3) 古文書管理の今後の計画はあるのか。

3 岩倉市ごみ収集の課題について問う

- (1) モラルアップについての対策はあるのか。
- (2) ごみ分別運用ルールの周知について問う。

4 岩倉市におけるドローン研究状況について問う

- (1) 岩倉市におけるドローン活用分野について問う。
- (2) ドローン導入についての考え方について問う。
- (3) ドローン研究プロジェクトチーム設置の可能性について問う。

4 相原 俊一 議員

1 消防団定数について

- (1) 岩倉市の定数充足率と他自治体の充足率は。
- (2) 定数の算出方法は。
- (3) 各行政区定数充足率は。
- (4) 近い将来の充足率の予想は。
- (5) 行政区の合区等の考えは。
- (6) 青年消防団の他市からの移住の為の提案

2 消防感謝カード発行を

- (1) 消防感謝状発行基準は。
- (2) 感謝状の過去数年の実績は。
- (3) 消防感謝カードの発行を求む。
- (4) 近隣自治体の状況は。

3 市道・県道の防犯灯設置について

- (1) 県道には防犯灯が少ない。区長からの要望の状況は。
- (2) 水銀灯、街路灯の設置と防犯灯の設置基準は。

4 電子母子手帳導入を求める

- (1) 母子手帳の発行の現況はどの様か。
- (2) 母子手帳記載項目は。
- (3) 予防接種等現在の周知方法は。
- (4) 電子手帳アプリで管理の可能性は。
- (5) 近隣自治体の状況は。

(6) 電子母子手帳の導入を求める。

5 須藤 智子 議員

1 子どもの貧困について

- (1) 岩倉市での子どもの貧困の現状はどのようなか。
- (2) 岩倉市では子どもの生活実態調査はおこなっているのか。
- (3) 子どもの貧困は社会的に影響するので何らかの対策を講じることが必要ではないか。

2 学校の働き方改革について

- (1) 岩倉市の中学校の教員の働き方の状況はどのようなか。
- (2) 中学校に部活動指導員を配置して教員の負担を軽減させてはどうか。

6 梅村 均 議員

1 勤労意欲溢れる『自律した職員集団』形成に向けた人事マネジメントを

- (1) 給与表の見直しを
 - ① 何十年も昇給する給与表は時代に合っているか。（縦軸の号俸の短縮について）
 - ② 等級が違えば給与も違う俸給表に。（等級の重なり解消）
- (2) 等級別基準職務表があいまいではないか。（職務を明確にし、その内容に値する給料を）
- (3) 人事評価が形骸化されないための取組みを。（手当・昇給昇格への反映、調整会議の実施、相対評価の導入）
- (4) 職員育成の目的だけでなく、人材マネジメントに活かす人事評価を。
- (5) 女性職員が活躍できる職場づくりはできているか。（勤務時間の選択制、女性活躍のための視点）

2 岩倉の偉人を題材にした学芸会で郷土愛醸成を

- (1) 学芸会の目的は。
- (2) 学芸会の題材はどのように決まるのか。
- (3) 学芸会に岩倉の偉人を題材にできないものか。

3 多様化した地域課題等の対応策を

- (1) 市民活動助成金制度の利用状況の推移は。
- (2) 行政メニューの発信による市民活動等の誘発ができないものか。

4 健康（幸）なまちであるために

- (1) 総合体育文化センターのトレーニング室の利用者が増加しているが、トレーニング機器は十分か。

7 鈴木 麻住 議員

1 公共施設の維持管理について問う

- (1) 公共施設の維持管理計画の状況はどのようなか。
- (2) 建築基準法12条による定期報告の現状はどのようなか。
- (3) 包括施設管理業務委託の取組みはどのようなか。

2 木造住宅の耐震対策について問う

- (1) 木造住宅の耐震診断の状況はどのようなか。
- (2) 木造住宅の耐震改修の状況はどのようなか。
- (3) 耐震シェルターの設置状況はどのようなか。

3 高齢者が楽しくいきいきと暮らせる福祉のあり方について問う

- (1) 介護施設「たんぼぼ温泉デイサービス一宮」の取組みをどのように考えるのか。
- (2) 岩倉市でこのような取組みをするための課題は何か。
- (3) 希望の家を活用してPPP・PFIなどで取組みを考えてはどうか。

8 木村 冬樹 議員

1 平和行政のさらなる推進を

- (1) 米軍・自衛隊の相次ぐ墜落・不時着・部品落下事故から見て、岩倉市の上空は大丈夫なのか。
- (2) 空自小牧基地のブルーインパルス展示飛行はやめさせるべきではないか。
- (3) 核兵器廃絶平和都市宣言の新たな看板設置を。

2 非正規雇用の労働者の生活と権利を守るために

- (1) 「働き方改革」は「働かせ方改悪」ではないか。
- (2) 地方公務員法・地方自治法改正を受けて、臨時・非常勤職員の賃金・働き方をどのようにしていくのか。
- (3) 一定の労働実態となっている嘱託職員の処遇改善を。
- (4) 労働契約法に基づく無期雇用転換ルールの周知徹底と相談体制整備を。

3 貧困の広がりにどう対応していくのか

- (1) これまでの生活保護費削減の影響をどう見ているのか。
- (2) 10月からの生活保護費削減の影響はどうか。
- (3) 生活困窮者自立支援事業の学習支援は足りているのか。

(4) 生活困窮者共同住宅の火災への対策は。